



令和 8 年 6 月

全国はばたきの会事業会計について

「はばたき賞」及び「はばたき奨励賞」に係る本会事業の会計について、以下のとおり報告いたします。

1 本会事業の開始について

昭和 52 年、名古屋空港ロータリークラブ会長 高嶋昇一氏からの 410 万円の寄付金により、同年校長会の大会総意を得て本事業が始まりました。

以降、寄付金を原資とした口座の利息以外には他からの収入はなく、原資のみにより本事業を長く継続することとして引き継がれ、運用しています。

2 現状について

平成 20 年 3 月 31 日時点で、残金は 2,085,986 円でした。

平成 26 年以降、毎年 1 万円前後の支出で本事業を継続しております。

平成 25 年以前は、印刷や発送等を外注していたため、毎年数十万を支出していました。しかし現在は、本事業の担当者が印刷や発送等を行っており、表彰内容のやり取りもメールによるデジタルで可能なため、実費のみで運用が可能です。

支出の主な内訳は、賞状用紙、賞状筒、郵送用段ボール、郵送料、雑費（タグシールシート、クラフトテープ等）です。

令和 8 年 3 月 31 日時点で、残金は 506,357 円です。

3 今後について

現行の受賞者数の賞状進呈であれば、毎年 1 万円前後の支出で継続ができます。

今後多少の物価上昇が見込まれても、残金は約 50 万円ですので、40 年近くは継続が可能であると考えられます。

ただし、現行どおりでない状況になった場合には、この限りではありません。その際には、本事業開始時と同様に、校長会の総意が必要になるものと考えます。

以上

全肢長事務局 はばたき賞担当
東京都立青峰学園
校長 田村 貴代美